

新潟県糸魚川市大規模火災（第13報）

消 防 庁

平成29年1月20日

18時00分現在

※下線は前回からの変更箇所

1 発生日時等

発生日時：平成28年12月22日10時20分頃

覚知日時：平成28年12月22日10時28分

鎮圧日時：平成28年12月22日20時50分

鎮火日時：平成28年12月23日16時30分

2 出火建物

飲食店（ラーメン店）

新潟県糸魚川市大町1丁目2-7

3 被害状況

(1) 人的被害

負傷者：17人（軽症：男性14人、女性2人、中等症：男性1人）

（煙を吸ったことによる1人、転倒による1人、消火活動中に負傷した消防団員15人）

(2) 建物被害

焼損棟数：147棟（全焼120棟、半焼5棟、部分焼22棟）

焼失面積（被災エリア）：約40,000㎡

焼損床面積：30,412㎡

(3) 避難勧告

24日 16時00分 解除

4 火災原因等

(1) 出火原因：大型こんろの消し忘れ

(2) 強風により広範囲に延焼拡大した模様

5 活動状況（活動消防車両数及び活動人員数）

【12月22日】

・糸魚川市消防本部 16台 74人

・糸魚川市消防団 72台 756人

・県内外応援消防隊 38台 175人

計 126台 1,005人

※22日 20時50分の鎮圧をもって県外応援消防隊は活動終了

※県内応援本部：新潟市消防局、長岡市消防本部、三条市消防本部、柏崎市消防本部、小

（17本部）千谷市消防本部、見附市消防本部、村上市消防本部、五泉市消防本部、阿賀野市消防本部、魚沼市消防本部、南魚沼市消防本部、阿賀町消防本部、加茂地域消防本部、燕・弥彦総合事務組合消防本部、新発田地域広域事務組合消防本部、十日町地域消防本部、上越地域消防事務組合消防本部

※県外応援本部：新川地域消防本部（富山県）、北アルプス広域消防本部（長野県）

（2本部）

【12月23日】

- ・糸魚川市消防本部 16台 75人
- ・糸魚川市消防団 64台 720人
- ・県内応援消防隊 25台 154人 (16時30分活動終了)
- 計 105台 949人

※県相互応援協定に基づき富山県消防防災航空隊が情報収集活動
(9時18分～10時13分)

【12月24日～30日】

糸魚川市消防本部・糸魚川市消防団による警戒巡視活動を実施

6 その他

- ・気象状況：最大風速13.9m/s、南
(12月22日10時20分現在 気象庁発表)
最大瞬間風速27.2m/s、南南東
(12月22日11時40分現在 観測場所：糸魚川市消防本部)
- ・糸魚川市は12月22日 13時00分に災害対策本部を設置
- ・新潟県は12月22日 13時00分に災害対策本部を設置

7 消防庁の対応

- | | | |
|--------|-------|--|
| 12月22日 | 14:10 | 消防庁災害対策室を設置(第1次応急体制) |
| | 16:00 | 消防庁災害対策本部に改組(本部長：消防庁次長、第2次応急体制) |
| | 17:30 | 消防庁から長野県及び富山県に対して、緊急消防援助隊(消火隊)の出動準備を依頼 |
| | 18:00 | 消防庁職員2名を現地へ派遣 |
| | 20:20 | 長野県及び富山県に対しての緊急消防援助隊(消火隊)出動準備を解除 |
| | 22:45 | 消防庁職員が、糸魚川市災害対策本部に到着 |
| 12月23日 | 1:00 | 消防庁職員が火災現場確認 |
| | 8:00 | 消防庁職員が糸魚川市災害策本部対策会議に出席 |
| | 15:00 | 消防庁職員が糸魚川市災害策本部対策会議に出席 |
| 12月25日 | 12:00 | 消防研究センター職員6名による延焼状況調査等を実施(12月26日まで) |
| 12月27日 | | 消防庁長官が現地を視察するとともに、消防職員・消防団員への激励を実施 |
| 12月28日 | | 政府調査団現地調査(消防庁消防・救急課長参加) |
| 12月29日 | | 原田総務副大臣が現地を視察するとともに、消防職員・消防団員への激励を実施(消防庁消防・救急課長随行) |
| 1月13日 | | 金子総務大臣政務官が現地を視察するとともに、消防職員・消防団員への激励を実施 |
| | | 消防庁職員による実地調査を実施 |
| 1月16日 | | 消防研究センター職員による火災現場調査支援を実施(1月18日まで) |

<連絡先>

消防庁災害対策本部

Tel (03)5253-7522

Fax (03)5253-7532